

言語活動の重視

振り返り、伝え合う活動

伝え合い活動の様子では、
背景となる黒板を利用して観点を示すことで、
子どもにも先生にも活動が見えるように
配慮しています。

子どもたちの生き生きとした
伝え合い活動を多く掲載しています。



48

上巻 P.48 ~ 49



49

下巻 P.30 ~ 31

下巻 P.39



30



下巻 P.16



22



思いを的確に相手に伝えるために大切なことは巻末資料で

巻末資料では、言語活動の基礎を示しました。

資料扱いにすることで、生活科本来の活動の流れを遮ることなく、効果的にサポートできるようにしました。



はなしめた はなししたいことがいっぱい

かわいいなことをつけています。

はなしめたの「かきくけこ」

こころをつたえよう

- か んたんなことば
- き こえるこえて
- く ちをあおきくあけて
- け つしていそがす
- こ とばづかいにきをつけて

118

ききかた なにをおしえてくれるのだろう

かわいいなことをつけています。

ききかたの「あいうえお」

こころをきこう

- あ いてをみて
- い つしょうけんめいに
- う なづきながら
- え がおで
- お わりまで

119

上巻 P.118 ~ 119

つたえかた

グループではっぴょうしよう

- だれがなにをするのかやぐりをきめておこう。
- きいているひとのようさをみんなははそ。
- しつもんやかんそうをきくのもいいね。

まめ じゅんじをかわいくかわいく。

しつもんやかんそうのときは

はなしをおわなくてまとまろう。 でもあげよう。 あつたひからはなしをしよう。

いろいろなほうほう

おどりやしゃんをさうじてつたえよう。

120

グループではなしあおう

- わたしはーとおしゃべりました。
- どもものははなしをよくきこう。
- ぶらのいわんもいおう。
- みんなのいわんをだしあってまとめてみよう。

おもひだしていきかんものをあわせなさい。

クラスではなしあおう

「先生、おひよおきいしておひげ」とおもひだす。

やめてね
ばらばらにはなさない。

121

上巻 P.120 ~ 121

上巻 P.22 ~ 23